

一般質問

一般質問とは、議案と関係なく行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行われます。今回の一般質問は、3月18日から20日までの3日間で行われ、11人の議員が質問に立ちました。

※掲載原稿は質問した議員本人が要約したものです。

番号	通告	質問者	質問事項
1	柴田 誠	① 乳幼児健康診査等について ② 子育てに関する相談について	
2	田中 茂	① 財政基盤の強化について ② 小規模・零細事業者の事業継承について ③ 観光の振興について	
3	五嶋 善彦	① 持続可能な行政運営を行うための財政の在り方について ② 複合施設の管理・運営方針について	
4	濱洲 大心	① (仮称)あまくさ宝島の森事業について ② 天草ジオパークの今後の取り組みについて ③ 小中学校、ICT教育の取り組みについて	
5	平山 泰司	① 熊本天草幹線道路について ② 西の久保公園、十万山公園の利活用と今後の整備計画について ③ 景観保全事業について	
6	赤木 武男	① 有料広告事業について ② 日常生活用具(暗所視支援眼鏡) 給付等事業について ③ 防災のまちづくりについて	
7	浜崎 義昭	① 経済発展のための対策 ② 弱者にやさしい天草市を ③ 天草の水産物の新たな可能性について	
8	五通 俊作	① 防災・減災について ② 置き勉について	
9	船辺 修	① 教育問題について	
10	蓮池 良正	① 新元号時代を迎える地方行政の構え ② 安心して住み続けられる天草市であるために	
11	池田 裕之	① 施政方針について	

● 財政基盤の強化について ● 小規模・零細事業者の事業継承・支援策について ● 観光振興について



田中 茂 議員

【財政基盤の強化について】
田中 総合計画において、財政健全化の方策をどのように考えているか。

総合政策部長 (歳入面) 税収等では、高徴収率の維持、企業誘致による税収基盤の拡大、ふるさと応援寄附金制度の推進、公共施設等への有料広告等新たな収入源の確保を図る。(歳出面) 再任用職員の活用、アウトソーシングの推進による総人件費の抑制、2020年度から制度化される会計年度任用職員については、その財源確保に向けて国への要望を継続する。投資的経費について、合併特例債の活用期限が2025年度までとなり、この期間内での事業費の平準化に努め、公共施設等総合管理計画に基づき、施設等の総量の縮減及び長寿命化や統廃合により財政負担の軽減、平準化を図る。枠配分による歳出削減を図る。各部署では、総合計画の体系に沿った事業の見直し、自主的な事業のスクラップアンドビルドを推進、国県補助金での財源確保、一般財源縮減を図る。

田中 10年先あるべき財政状況の目標設定は、
市長 後期基本計画最終年度での、

地方債残高をおよそ517億円(うち交付税措置がある分409億円)とする。

【小規模・零細事業者の事業継承・支援策について】

田中 当該事業者の実態把握はできているか。できてなければ早急な実施を。

産業政策課長 統計調査等で経営者の年齢や後継者の有無といった事業継承に関わる調査結果がないこと。また事業者の名簿情報も無いことから把握できていない。まずは、商工団体と連携して、会員の方へ事業承継問題も含めたアンケート調査を実施し、その結果などを参考に、どのような支援が必要か検討する。

【観光振興について】

田中 おもてなし力の強化、外国人観光客の受入れ体制、施設整備等の対策は充分か。
観光文化部長 市民全体で観光客をもてなす、観光地としての資質向上が必要と考える。外国人受け入れ可能な必要と認める施設の拡大を図る。施設の整理を進めるとともに、計画的な改修を実施し、魅力の向上を図る。

● 乳幼児健康診査等について ● 子育てに関する相談について



柴田 誠 議員

柴田 幼児歯科検診時に希望する保護者の歯科検診はできないか。

健康福祉部長 大人の歯科検診については、歯周病などを早期に発見し、早期治療に結びつけるため、天草郡市歯科医師会の御協力のもと、かかりつけの医療機関において、40歳以上の方と妊娠中の方へ実施をしている。乳幼児健康診査時の保護者への歯科検診の実施は考えていない。

【赤ちゃん体験事業について】

柴田 小中学生が、赤ちゃんと一緒に、遊び、ふれあい、命の尊さや、心身の発達を学ぶ機会として、また将来の子育てに対する期待や意欲を育むことを目的として乳幼児触れ合い体験事業を学校の授業の一環としてできないか。

教育部長 小学校では、「総合的な学習の時間」や「生活科の時間」に、中学校では技術・家庭科の家庭分野に、保育園(所)児、幼稚園児とのふれあいや実践的・体験的な学習を行っている。乳児を対象とした体験型の授業になるので、安全面も含め配慮すべき課題もある。今後、関係部署と連携して検討を進める。

【子どもに対する相談について】

柴田 子どもに関する市への相談、

支援が必要な子ども(保護者)に対して、生活支援など連携した支援体制は。

健康福祉部長 子育て支援課では専用電話による、相談を受け付けている。緊急性が高い内容には、児童相談所、警察署等と連携している。児童福祉法に規定された「天草市要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会」を設置している。家庭環境に関する支援については、就労支援や住環境の改善と子育てのサポートのため、ヘルパー派遣等の支援策を提供している。家計がひっ迫した状態での相談に対しては、レスキュー事業を活用し支援を行っている。関係機関の連携協力のもと支援体制を構築し、様々な支援を実施している。

【複合施設の名前について】

柴田 日本渡中学校跡地に2020年度開設予定の、複合施設には、中央図書館、男女共同参画センター、本渡地区公民館、勤労青少年ホーム、中央保健福祉センターなどの機能が入るが施設の名称を公募する考えはないか。
総合政策部長 施設の名前または愛称は、新年度に広く募集を行うことを計画している。

● 持続可能な行政運営のための財政の在り方 ● 複合施設の管理・運営方針について



五嶋 善彦 議員

五嶋 庁舎、複合施設、イルカセンター建設など、大型プロジェクトへの投資が続く、起債残高の増大や管理経費の増加による財政の硬直化が懸念されるが、対応策は。

市長 いずれも、住民生活と直結した施設や雇用の増大、地域外からの外貨獲得を目指した施設への

投資であり、維持管理の増大にならない仕組みを重要視している。財源は、過疎債、合併特例債などの有利な財源を活用する。

五嶋 将来の財政状況を見通し、健全な行政運営を維持していくための考え方は。

市長 既存の事業や仕組みを厳しく見直すことで無駄な財源の削減を行い、新たな事業へ振り向けてきた。後年に負担を引き伸ばさない行政運営が基本と考えている。

五嶋 図書館、市民活動の場、保健センターの機能を有する複合施設が建設中である。市民の期待は大きいものがあるが、市長は、新たな図書館をどのような施設としたいか。また、利用拡大のため、開館時間の見直しを行うべきと思うが。

市長 複合施設の大きなコンセプトは市民交流の場の提供である。図書館においても、市民が行きたくなる図書館、行って楽しくなる図書館づくりを目指しており、利用時間の延長も考えている。

※多くの支援体制がありますが省略しております。詳しくは子育て支援課までお問合せ下さい。